

東京都個人タクシー協会

会報

乗って安心個人タクシー



11 平成23年 月号

業界の環境貢献のシンボルとして EV・HVタクシー乗り場が誕生

10月3日(月)午前11時から東京駅・新丸ビル前において「EV・HVタクシー乗り場」開設記念式典が開催され、多くの関係者が見守るなか、EV・HVタクシーがお客様を乗せてスタートしました。

タクシーの新たな 社会的役割が形に

式典は(社)東京乗用旅客自動車協会、(社)東京都個人タクシー協会、(財)東京タクシーセンターの3団体が主催するイベントです。大手町・有楽町地区とならんで環境対策に積極的な丸の内地区は、新たな環境保全型タクシーのイメージにふさわしいエリアで、地域のご協力も得られたことから、新丸ビル前が「EV・

HVタクシー乗り場」に選ばれました。

式に先立ち、東旅協の富田会長が「タクシー業界にも環境対策への取り組みが求められています。低公害車専用の乗り場という目に見える形でそれに応えることができまし」と挨拶されました。来賓も交えて紅白のテープにはさみを入れるテープカットに続いて、待機していた4台のEV・HVタクシーが、記念品を贈呈された4組のお客様を乗せて次々に出発。その中には、個人事業者の代表である都営協・亀戸支部の宇田川明善さんの電気自動車も見られました。

最後に当協会を代表して横山副会長が「関係各位のご尽力により、環境問題に積極的に取り組む業界の姿勢がこのような形に結実しました。これからも、1カ所でも多くEV・HVタクシーの専用乗り場が設置されることを願っております」と述べ、新たな役割を担うタクシー乗り場の誕生を印象づけました。

今後、新丸ビル前乗り場は、平日の午前9時から午後9時までの間、「統一ステッカー」をつけた電気自動車かハイブリッド自動車専用の乗り場となります。(禁煙車に限る)



当協会を代表して横山副会長がテープカットをおこないました(左から2番目)

お客様の注目度も高いですよ

宇田川明善さんの談話

2月から日産の「リーフ」(電気自動車)に乗っています。新しいものが好きなので、この車を選びました。燃料の電気ですが、充電に1時間かかったとしてもガソリンに比べて経費が驚くほど安く済みます。しかも中央区役所とか千代田区役所などで充電すればタダ、これは大変魅力です。ただし、1回の充電で80キロほどしか走れないので、お客様は近距離が中心になります。よくプリウスに間違えられますが、環境にやさしいタクシーとすることで、お客様の評判も上々ですね。



出発式に臨む宇田川さん。たくさん報道陣からの取材に対応していました

都内個人タクシーの現況 (平成23年10月1日現在)

許可事業者数 16,498名 (前月比-44名)
(特別区、武三16,022名 北多摩184名 南多摩292名)
傘下事業者数 16,270名 (前月比-56名)
(特別区、武三15,796名 北多摩184名 南多摩290名)

関東運輸局長による運転者表彰 指導者として後進の指導・教育を

10月5日(水)午後2時から、神奈川県立青少年センターにおいて、平成23年度自動車運送事業運転者表彰式が行なわれました。今年度の表彰者は249名、うち個人タクシー部門では14名(東京9名、神奈川3名、千葉2名)が受賞。都営協板橋支部・吉日國男さんが代表として表彰状を授与されました。

神谷局長祝辞

皆様は長年に渡り事業用運転者として優れた運転技術により、日々業務に精励され、責任事故や交通違反がないことはもとより、運送事業の使命である輸送サービスの面でも極めて優秀な業績を築いてこられた方々です。

この受賞に大きな自信と誇りを持ち、模範として更なる研鑽に努めていただくと共に、良き指導者として、後進の指導育成にもご尽力賜り、輸送サービスの一層の向上に貢献していただきますようお願い申し上げます。

また東日本大震災において、当日の帰宅困難者の輸送、避難された被災者の病院間の輸送、医療スタッフを東北地方へ輸送など極め細やかな輸送を続けていた



お祝いの言葉を述べる神谷局長

直後から支援・復興のために多大な貢献をしていただいたことに改めてお礼申し上げます。

受賞者の声

都営協板橋支部 吉日國男さん

無事は名馬で迎えられるように

タクシー歴33年。言葉遣いを心掛けています。タクシーの接客の原点は人と人です。運転者に対して返事がないと言われているようですが、「はい」のみではなく「はい。わかりました」と言葉をつけ加えたり、ドアを閉めながら返事をするのではなく、一拍置いてから、行き先については確認を取るようにはしたりと気を付けています。また、ドアを開けたときに「はい。どうぞ」、「お待たせしました」、「ドアを閉めます」と言えば、お客様との会話がスムーズにつながります。酔酔状態などトラブルが起きそうなお客様には、よく声をかけるようにし、未然に防止しています。今後もう少し先を見据えて、事故を絶対に起こさないよう今を一生懸命やっていききたいと思っています。



平成23年10月期緊急街頭指導報告

排除から摘発へ

指導対象事業として道路交通法違反や交通阻害行為等を明確に盛り込むとともに、罰則を強化して厳格化した「街頭営業適正化指導規程」が10月1日から適用されました。これに合わせて、緊急街頭指導を10月3日から13日までの5日間、帝国ホテル前みゆき通り、土橋高速入口周辺、銀座日航ホテル周辺、新橋駅東口周辺で実施。一部の事業者による不適正営業行為が一向に是正されず、もはや教育や指導では適正営業の徹底は望めません。これまでの排除指導から不適正営業車両の摘発に方向転換し、街特委員及び推進指導員が私服によるビデオ撮影を伴った街頭指導に当たりました。報告書の中から一部を抜粋して紹介します。なお、今回の街頭指導での摘発件数は約30件でした。

平成23年10月5日

午後11時から翌午前2時

第10指導班

相澤街特委員長の指示のもと、各指導員が任務分担任手順を確認し摘発に向かった。みゆき通り山下橋ガード下から帝国ホテル駐車場入口においては法人指導員が指導に当たっており、違法客待ち車両は認められなかった。土橋高速入口付近においても整然としており摘発の対象に至らなかった。新橋駅東口吉野家前に数台の不適正営業車両が見られ、ビデオにて撮影を行った。また外堀通りから空車タクシー進入禁止区間に進入する車両を撮影した。

平成23年10月11日

午後11時から翌午前2時

第2指導班

銀座1号乗り場右隣りに二重待機をしている個人タクシー3台を現認。交通阻害の原因である旨注意を行うが、「始めて言われた」この不満を漏らす旨指導に従った。

平成23年10月7日
午後11時から翌午前2時
第1指導班
新幸橋で4台、土橋高速入口で2台、新橋駅東口で2台の不適正営業車両を撮影し

銀座日航ホテル周辺には個人タクシーは1台もいなかったが、代わりに法人のタクシー行為が目立つ。注意しても指導に従わないので、車両番号等を記録した。

【財】東京タクシーセンター 第26回個人タクシー優良事業者団体表彰

厳しい選考基準の中、54団体が受賞

9月27日(火)、ホテルイースト21東京において、第26回個人タクシー優良事業者団体表彰式が開催されました。今年度は特別優良表彰17年の「東個協・野方支部」をはじめ54団体が受賞、表彰状と記念品を授与されました。

業界のリーダーとして一層の期待

東京タクシーセンター・小林専務理事から開式の辞において、選考基準について次のように述べられました。

「優良事業者団体の選考基準は、一つ目に指導件数、苦情件数が極めて少なく、二つ目に関係法令の遵守、運転者指導教育など積極的に実施し、サービスの向上と事故防止等安全管理に努められたことです。今後とも業界のリーダーとして一層の活躍を期待しております」。



受賞者の皆さん

からは「今後さらには「今後もさらに創意工夫に努め、利用者から満足いただけるために業界の先達となり、より高い評価が得られるよう一層の努力を切に願います」と祝辞をいただきました。

表彰は支部員一人ひとりの意識の高さ

【受賞者の声】

特別優良表彰16年

東個協・世田谷第二支部

小林 茂さん



前支部長から特別優良表彰が続いており、絶対に絶やしたくないという思いで取り組んできました。支部員一人ひとりに感謝しています。日頃から支部員には一度指導されたら、次に指導されたときは都個協の特別指導講習会へ自分が同行すると伝えたり、毎月の会報には常に適正営業を心掛けるよう知らせたりと、安全運転への意識を高める働きかけをしています。また、132名の支部員で構成された当支部は、小さい支部だからこそ適正営業への意識の共有が出来、16年の表彰に至ったと思います。支部会でも適正営業を啓蒙し、今後とも継続して表彰されるように励んでいきます。

地理モニター報告⑧

新施設

名称	概要	所在地	開始日
蒲田リハビリテーション病院	バイオニア(株)大森事業所の跡地に開院した。	大田区大森西 4-14-5	平成23年5月

お客様からお礼の言葉が届きました

9月26日に東個協北支部の事業者・櫻井伸潔さんが乗せたお客様から、お礼の言葉をいただきました。気分がとても悪かったので途中で車を止めても良かったところ、「大丈夫ですよ」とやさしく声をかけていただき、袋まで用意してくれた。よくタクシーを利用するが個人タクシーは嫌な思いをしたことがあり、私は苦情を言えないので、今まで利用を避けていた。今回は知人が個人タクシーを手配したので我慢してそのまま乗車した。ところが櫻井タクシーは非常に親切なドライバーで、本当にありがたい気持ちになった。これからは個人タクシーを利用していききたい。



一人の親切な対応がお客様から個人タクシー全体の評価につながります。個人タクシーを利用するお客様をこれからも増やしていきましょう。

訃報

*9月

氏名	所属団体	享年	病名
上野繁五郎	(東個協・荒川)	69歳	肝硬変
豊田 誠	(東個協・江戸川第二)	62歳	肺癌
松澤 保	(東個協・大田第二)	74歳	膵臓癌
吾妻勝雄	(東個協・新宿)	67歳	心不全
藤澤雅樹	(東個協・世田谷第二)	67歳	肺癌
大勝敦延	(東個協・新東京)	73歳	肺気腫
小浦 正	(都営協・城北)	55歳	肺癌
柚口恵二	(都営協・朋友)	65歳	肺炎
藤田光市	(都営協・東部)	57歳	肺癌
後藤一幸	(都営協第一事業団)	62歳	肝腫瘍
松永正明	(都営協第一事業団)	55歳	大動脈瘤破裂
清水浩之	(都営協・板橋)	51歳	不明

ご冥福をお祈り申し上げます

行政処分状況

平成23年9月分

処分日	氏名	処分内容 (車両停止)	違反条項	違反概要	点数
9月21日	一橋隆男	30日車	運輸規則第25条	運転日報	3点

101名の新たなスタート

譲渡譲受認可書交付式

10月7日(金)午後3時より、個人タクシー会館において「譲渡譲受認可書交付式」が開催されました。関東管内126名の認可者にうち、東京は101名(特別武三97名・北多摩2名・南多摩2名)。新規参入が譲渡譲受に限られている現在、個人タクシーの再生に向けて101名の新人に期待がかかります。

関係者の期待に応える努力を

交付式は、2日間にわたる個人タクシー事業講習会の終了後に行われました。まず事業者代表の小松正夫さんに、東京運輸支局の鈴木次長から認可書を授与。続いて鈴木次長から「これからはプロのドライバーとして、自己管理、輸送の安全・安心はもろんのこと、お客様目線の接客に努めていただきたい。たった一人のたった一つの不祥事によって、業界全体の信頼が崩れてしまいます。法令を遵守するだけでなく、常に変わる法令に対してアンテナを高くして、情報収集に努めてください。「知らなかった」では済まされたいのです。今日という日はゴールではなくスタートです。これから日々、自己研鑽が求められます。そして今日まで応援してください。皆様のご家族の期待に応えるような、皆様の努力に期待いたします」とのご挨拶がありました。



お祝いの言葉を述べる東京運輸支局の鈴木次長

「今まで通り」を心がけます
小松正夫さん(都営協・事業団支部)

タクシードライバーになって25年、現在61歳です。会社の定年が63歳で、それ以後も会社に残るとしたら収入が減りますので、それならいつそのこと個人事業者を目指そうと思ったわけです。以前の会社では14年間、組合の委員長をやっていました。そこで日ごろ組合員に言っていたこと、服装や接客などの心構えを、これからは自分へ言い聞かせていきます。そして仲間への感謝を忘れず、みんなに恥ずかしくないよう、また皆さんに迷惑をかけないよう、今まで通りのやり方を続けていきたいと思っています。



交付式の様子
代表で認可書を受け取る小松さん

東京ぐるり

支部紹介 第37回

日個連東京都営業協同組合 東支部
(所在地：港区芝浦)

「業界の危機は自分の危機」と
全員参加型の組織で共有したい

来年初立40周年を迎える伝統ある支部。早くに支部独自の事故共済を立ち上げて他の組織に前例を示すなど、創立時から個人タクシー業界を牽引してきました。

同支部には練馬事務所もあります。1981年、組合員23名の西練馬個人タクシー協会を合併した際、そのまま残した出先事務所ですが、今や芝浦の事務所を超える支部員数。練馬の学習室はここ数年、受験生の合格率100%の快挙を支える原動力です。

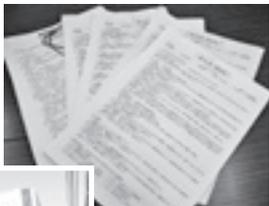
個タクが危機的な時代に「支部員の自覚が薄いと危機は実感できない」(立原副支部長)との思いから、「伝統に育まれた和気あいあいとした雰囲気を生かして、全員参加型の支部運営を目指します」と井形支部長は語ります。



前列左から井形支部長、立原副支部長
後列は歴史ある支部を支える事務員のみなさん



昨年はタクセンの団体表彰5年連続を受賞。来年の7年連続を目指して盛り上がっています



月刊の「組合だより」が情報共有のななめ。現在、より強力な「意思共有」の手段を模索中です



事務所は田町駅から徒歩5分。周辺は近代的なオフィスや大学などが密集する都心の雰囲気

なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

東京湾につながる運河の町

芝浦は運河の町。東支部の近くは芝浦運河の裏手にあたり、船着き場にはたくさんのクルーザーや屋形船が係留されています。付近一帯は板張りの遊歩道が整備され、オフィス街の憩いの場に。

